

# 平成29年度 益子町決算概要

## 1. 全会計について



平成29年度の益子町の全会計（一般会計及び5つの特別会計）の歳入総額は139億6,688万995円、歳出総額は133億6,296万2,041円で、歳入歳出差引額は6億391万8,954円となっており、平成28年度決算額と比較しますと、歳入において9億5,141万5,074円（△6.4%）、歳出では9億37万784円（△6.3%）の減額となりました。

単位：円、%

会計名		平成29年度決算額	平成28年度決算額	増減額	増減率
一般会計	歳入	8,391,036,736	9,311,651,344	△920,614,608	△9.9
	歳出	7,924,609,733	8,805,339,620	△880,729,887	△10.0
	差引額	466,427,003	506,311,724	△39,884,721	△7.9
国民健康保険特別会計	歳入	3,184,520,153	3,259,504,489	△74,984,336	△2.3
	歳出	3,135,001,996	3,202,705,670	△67,703,674	△2.1
	差引額	49,518,157	56,798,819	△7,280,662	△12.8
後期高齢者医療特別会計	歳入	192,993,632	183,385,290	9,608,342	5.2
	歳出	192,271,271	182,402,103	9,869,168	5.4
	差引額	722,361	983,187	△260,826	△26.5
介護保険特別会計	歳入	1,553,961,435	1,494,376,611	59,584,824	4.0
	歳出	1,493,713,106	1,416,009,402	77,703,704	5.5
	差引額	60,248,329	78,367,209	△18,118,880	△23.1
公共下水道事業特別会計	歳入	538,235,993	564,278,729	△26,042,736	△4.6
	歳出	513,405,280	558,087,315	△44,682,035	△8.0
	差引額	24,830,713	6,191,414	18,639,299	301.1
農業集落排水事業特別会計	歳入	106,133,046	105,099,606	1,033,440	1.0
	歳出	103,960,655	98,788,715	5,171,940	5.2
	差引額	2,172,391	6,310,891	△4,138,500	△65.6
合計	歳入	13,966,880,995	14,918,296,069	△951,415,074	△6.4
	歳出	13,362,962,041	14,263,332,825	△900,370,784	△6.3
	差引額	603,918,954	654,963,244	△51,044,290	△7.8

\*平成29年度決算書は、役場・中央公民館・改善センター・あぐり館に備え付けてありますのでご参照ください。

## 2. 一般会計決算について

### (1) 概要

平成 29 年度の一般会計の歳入総額は 83 億 9,103 万 7 千円、歳出総額 79 億 2,461 万円で、歳入歳出差引額（形式収支）は 4 億 6,642 万 7 千円となりました。

形式収支から翌年度に繰り越すべき財源 3,310 万 3 千円を控除した実質収支は 4 億 3,332 万 4 千円の黒字となっており、このうち 2 億 2,000 万円を財政調整基金に積み立てし、残額は平成 30 年度への繰越金としました。

単年度収支については、前年度の実質収支額（4 億 6,183 万 9 千円）を下回ったことにより 2,851 万 5 千円の赤字となり、実質単年度収支については、財政調整基金取崩（2 億 8,500 万円）等の影響により、3 億 1,330 万円の赤字となりました。



### (2) 主要な財務指標と町債・基金残高

財政状態を示す財政指標のうち、**経常収支比率**<sup>注1</sup>は 86.7%と前年度から 1.5 ポイント増加しました。主な要因は、昨年度に比べ普通交付税が減少したこと等によるものです。**実質公債費比率**<sup>注2</sup>については 7.1%で前年度から 0.4 ポイント増加しました。また、**将来負担比率**<sup>注3</sup>は 46.7%で前年度から 6.3 ポイント減少しました。主な要因は、地方債現在高及び債務負担行為に基づく支出予定額の減額によるものです。

#### 注 1：経常収支比率

人件費・扶助費などの経常的経費に町税・普通交付税などの経常的収入がどの程度充当されているかにより、財政構造の弾力性を測る比率。この率が低いほど、様々な事業に使えるお金の余裕があることになる。

#### 注 2：実質公債費比率

公債費や公営企業債への繰出金など公債費に準じるものを含めた実質的な公債費相当額に充当された一般財源の標準財政規模に占める割合の前 3 年度の平均値。18%以上になると国の許可、25%以上では国から地方債の発行が制限されることとなる。

#### 注 3：将来負担比率

一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率。この比率が高い場合、将来これらの負担額を実際に支払う必要があることから、今後の財政運営が圧迫されるなどの問題が生じる可能性が高くなる。

平成 29 年度末の町債残高は 68 億 8,563 万 4 千円で、前年度末より 2 億 1,017 万 9 千円減少しました。町債のうち、後年度に**国からの財政措置**<sup>注4</sup>がある臨時財政対策債につきましては、平成 29 年度末の残高が 41 億 9,365 万 6 千円と町債残高の 60.9%を占めている状況です。

一方、財政調整基金残高は、平成 28 年度決算剰余金 2 億 4,000 万円を積立し、歳出削減や国県補助金等の特定財源の確保により基金の取り崩しを極力抑えましたが、2 億 8,500 万円の取り崩しとなり、前年度末より 4,478 万 5 千円減の 10 億 2,520 万円となりました。

### (3) 歳入と歳出

歳入のうち、自主財源は 34 億 1,555 万 8 千円（比率：40.8%）で、前年度と比較しますと 2 億 739 万円の減額、率では 1.8 ポイントの増加となりました。また、依存財源は 49 億 7,547 万 9 千円（比率：59.2%）で、前年度比で 7 億 1,322 万 4 千円の減額、率では 1.8 ポイントの減少となりました。自主財源においては、繰入金（前年度比△1 億 5,356 万 7 千円）、繰越金（前年度比△1 億 2,826 万 4 千円）等が減額となり、依存財源においては町債（前年度比△2 億 9,597 万 1 千円）、地方交付税（前年度比△1 億 7,136 万 8 千円）、国庫支出金（前年度比△1 億 6,540 万 4 千円）等が減額となっております。

歳出のうち消費的経費は 68 億 1,023 万 2 千円で、前年度比 2 億 4,824 万 1 千円の減額、率では 5.7 ポイントの増加となりました。主な要因としては、芳賀地区広域行政事務組合負担金や担い手確保・経営強化支援事業費補助金等の減額によるものです。また、投資的経費は 11 億 1,437 万 8 千円で、前年度比 6 億 3,248 万 8 千円の減額、率では 5.7 ポイントの減少となっており、これは道の駅整備事業、七井小学校屋外プール改築工事等の皆減によるものです。

#### 注 4：国からの財政措置

臨時財政対策債は、実際の借入れの有無にかかわらず、その元利償還金相当額を地方交付税における基準財政需要額の公債費に算入されることとなっている。



## 平成 29 年度の主な事業

障がい者（児）扶助	5 億 6,637 万円
臨時福祉給付金給付事業	5,633 万円
高齢者扶助	2,039 万円
子育て応援手当	3,368 万円
子ども子育て支援拠点施設整備事業	4,973 万円
民間保育所運営補助事業	4 億 8,001 万円
認定こども園運営費負担金	2 億 7,561 万円
児童手当	3 億 6,689 万円
こども医療費助成事業	6,426 万円
保健センター施設工事	1,999 万円
芳賀台地土地改良事業負担金	5,606 万円
多面的機能支払交付金事業補助金	4,774 万円
平成館改修工事	8,102 万円
旧濱田邸茅葺屋根改修工事	1,804 万円
道路改良・舗装・修繕工事	1 億 7,751 万円
消防ポンプ自動車購入	4,061 万円
中学校衛生設備等工事	6,443 万円



平成29年度一般会計歳入歳出決算

(単位：千円、%)

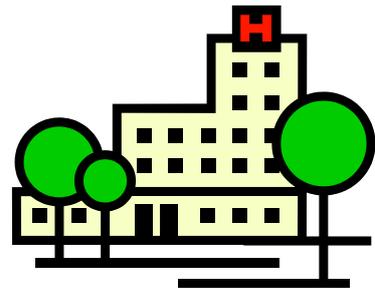
歳 入			歳 出		
区 分	金 額	構成比	区 分	金 額	構成比
○ 自主財源	3,415,558	40.8	○ 消費的経費	6,810,232	85.9
町税	2,429,435	29.0	補助費等	1,071,432	13.5
繰越金	266,312	3.2	扶助費	2,083,088	26.3
繰入金	366,160	4.3	人件費	1,281,795	16.2
分担金及び負担金	102,213	1.2	繰出金	772,953	9.8
寄附金	31,135	0.4	公債費	698,215	8.8
諸収入	101,209	1.2	物件費	812,911	10.2
使用料及び手数料	54,769	0.7	積立金	31,242	0.4
財産収入	64,325	0.8	維持補修費	23,596	0.3
○ 依存財源	4,975,479	59.2	貸付金、投資及び出資金	35,000	0.4
地方交付税	2,074,183	24.7	○ 投資的経費	1,114,378	14.1
国庫支出金	1,089,809	13.0	普通建設事業費	1,108,830	14.0
県支出金	770,037	9.2	災害復旧事業費	5,548	0.1
町債	437,398	5.2	失業対策事業費	0	0.0
地方消費税交付金	392,478	4.7			
地方譲与税	89,243	1.1			
ゴルフ場利用税交付金	56,247	0.7			
自動車取得税交付金	24,749	0.3			
株式等譲渡所得割交付金	12,148	0.1			
地方特例交付金	12,676	0.1			
配当割交付金	11,457	0.1			
利子割交付金	3,760	0.0			
交通安全対策特別交付金	1,294	0.0			
歳入合計	8,391,037	100.0	歳出合計	7,924,610	100.0



### 3. 国民健康保険特別会計決算概要

平成 29 年度の国民健康保険特別会計の歳入総額は 31 億 8,452 万円、歳出総額は 31 億 3,500 万 2 千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は 4,951 万 8 千円となりました。このうち 2,500 万円を財政調整基金に積立し、残額は平成 30 年度への繰越金としています。前年度と比較しますと、歳入は△7,498 万 4 千円（△2.3%）、歳出は△6,770 万 4 千円（△2.1%）とそれぞれ減額となりました。歳入では、繰入金が△2,962 万 1 千円、国庫支出金が△1,083 万 4 千円、共同事業交付金が△991 万円減少し、歳出では、保険給付費が△2,648 万 5 千円、後期高齢者支援金が△1,469 万 1 千円減少しています。

なお、保険税の収納率は 70.6%で、前年度から 0.2 ポイント改善しました。



### 4. 後期高齢者医療特別会計決算概要

平成 29 年度の後期高齢者医療特別会計の歳入総額は 1 億 9,299 万 3 千円、歳出総額は 1 億 9,227 万 1 千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は 72 万 2 千円となりました。前年度と比較しますと、歳入は 960 万 8 千円（5.2%）、歳出は 986 万 9 千円（5.4%）とそれぞれ増額となりました。歳入の主なものは、後期高齢者医療保険料 1 億 3,480 万 9 千円で歳入の 69.9%、一般会計からの繰入金が 5,699 万 1 千円で歳入の 29.5%を占めています。歳出では、後期高齢者医療広域連合への納付金が 1 億 8,911 万 9 千円で歳出の 98.4%を占めています。

なお、保険料の収納率は 99.3%で、前年度から 0.2 ポイント改善しました。



### 5. 介護保険特別会計概要

平成 29 年度の介護保険特別会計の歳入総額は 15 億 5,396 万 1 千円、歳出総額は 14 億 9,371 万 3 千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は 6,024 万 8 千円となりました。前年度と比較しますと、歳入は 5,958 万 5 千円（4.0%）、歳出は 7,770 万 4 千円（5.5%）の増額となりました。

歳入の主なものは国庫支出金が 5 億 2,169 万 8 千円で歳入の 33.6%、介護保険料が 3 億 5,175 万 4 千円で歳入の 22.6%を占めています。歳出は保険給付費が 13 億 1,678 万 3 千円で歳出の 88.2%を占めています。

なお、保険料の収納率は 97.9%で、前年度から 0.1 ポイント改善しました。

## 6. 公共下水道事業特別会計概要

平成 29 年度の公共下水道事業特別会計の歳入総額は 5 億 3,823 万 6 千円、歳出総額は 5 億 1,340 万 5 千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は 2,483 万 1 千円となりました。前年度と比較しますと歳入△2,604 万 3 千円（△4.6%）、歳出は△4,468 万 2 千円（△8.0%）とそれぞれ減額となっております。歳入では繰入金が増加しましたが、国庫支出金、町債が減少し、歳出では、公共下水道事業費が減少しております。

また、平成 30 年 3 月 31 日現在における水洗化率は、73.7%（処理区域内人口：4,604 人、水洗化人口：3,391 人）でした。

なお、使用料の収納率は、99.3%でした。



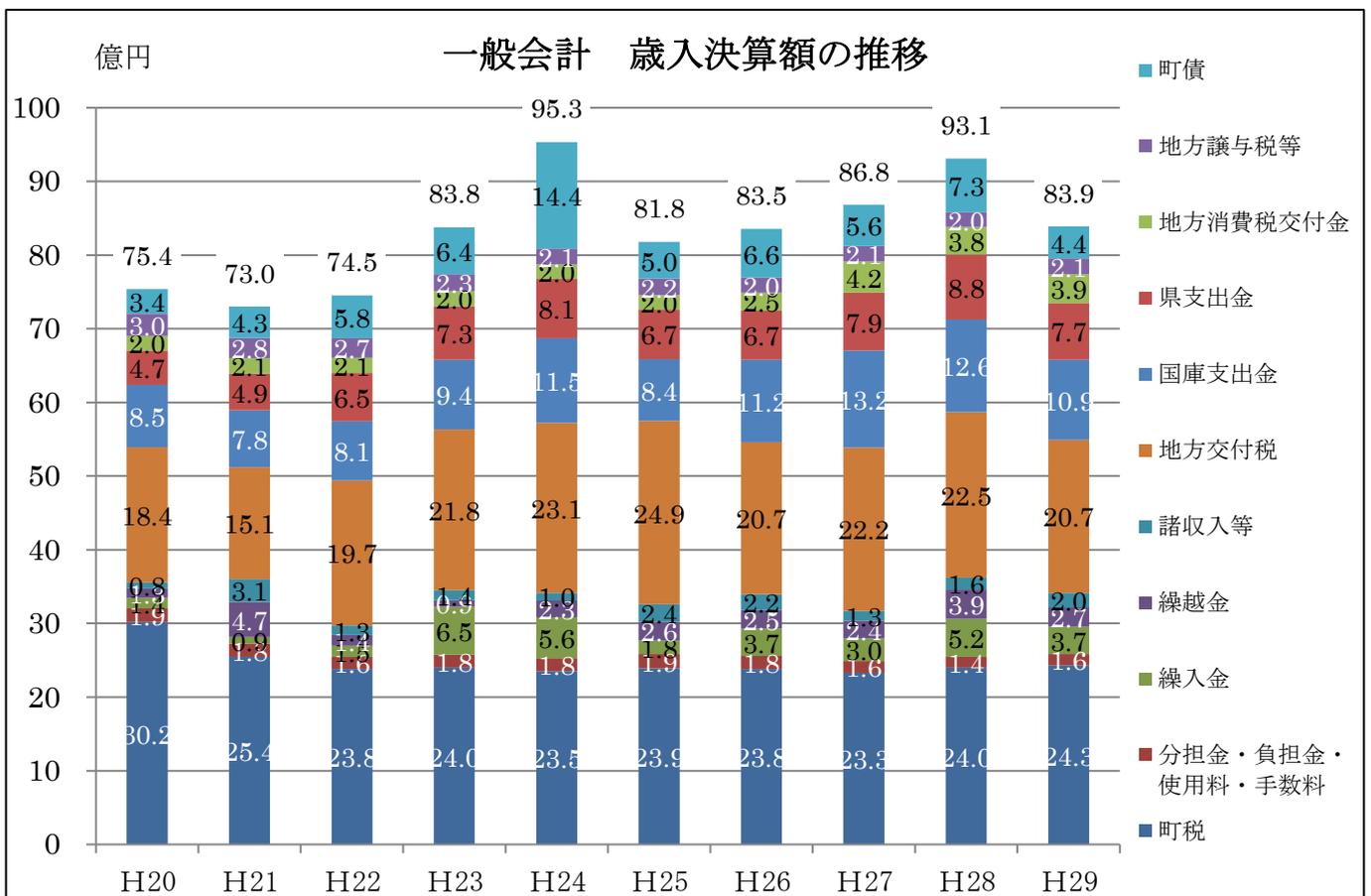
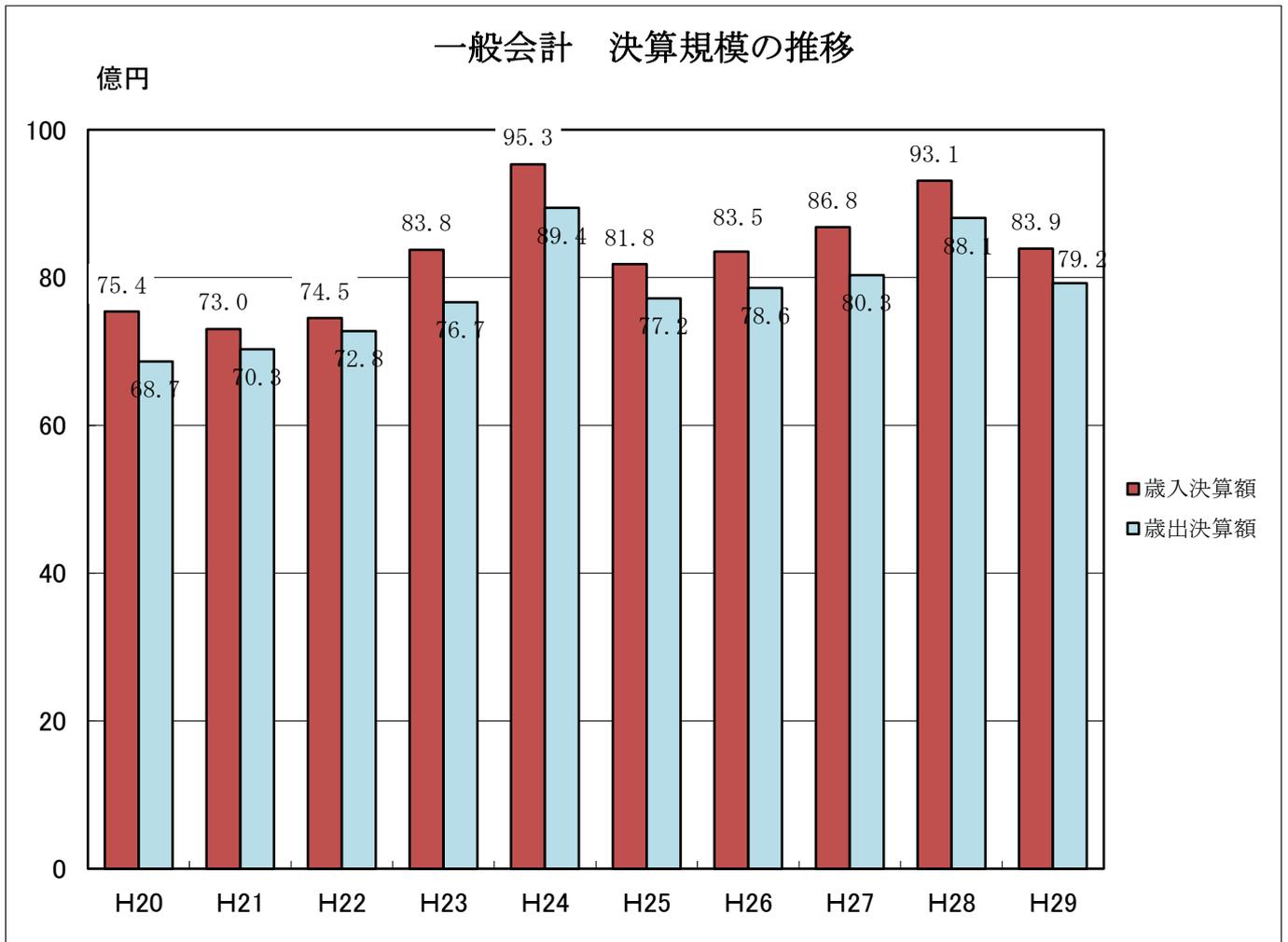
## 7. 農業集落排水事業特別会計概要

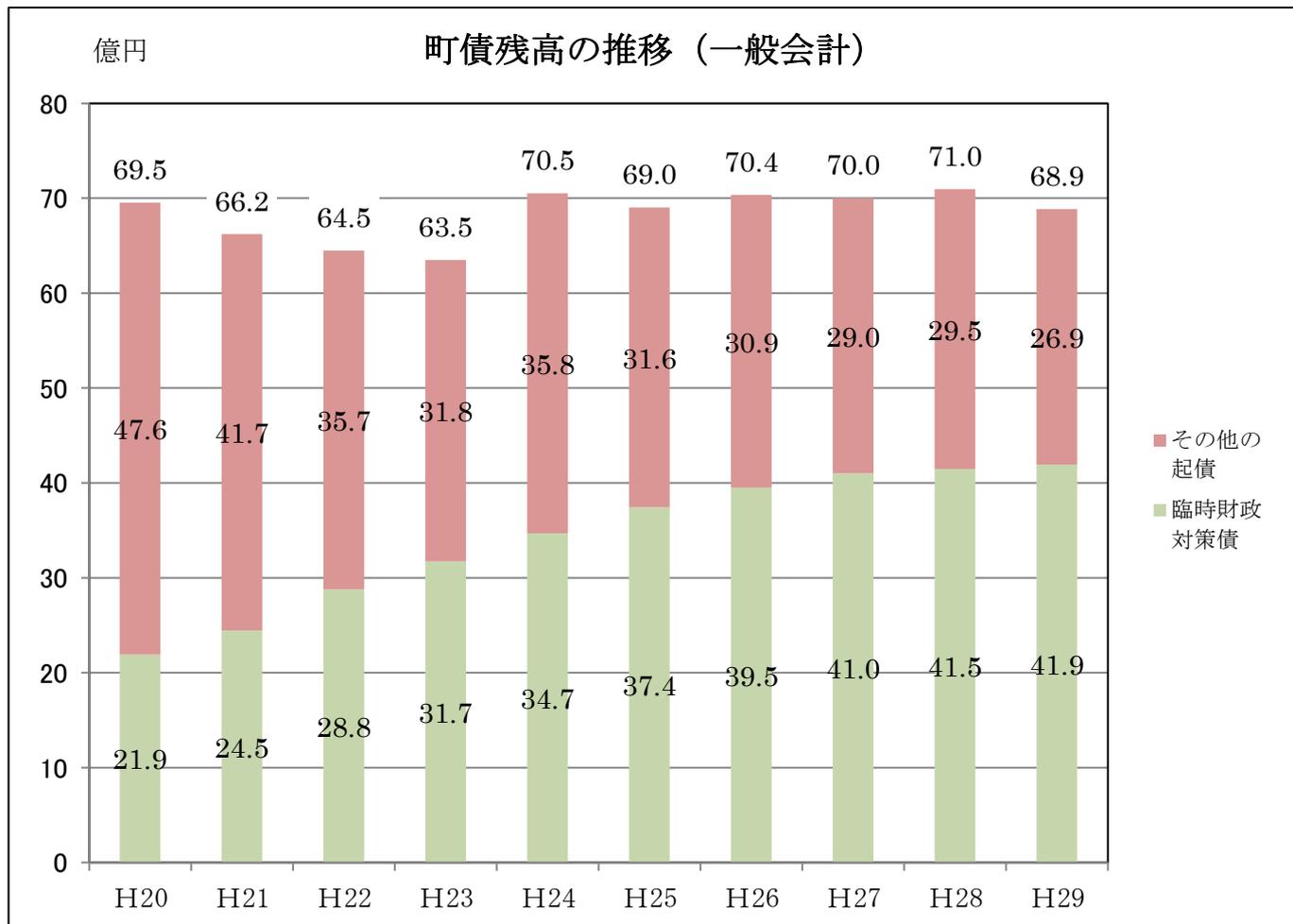
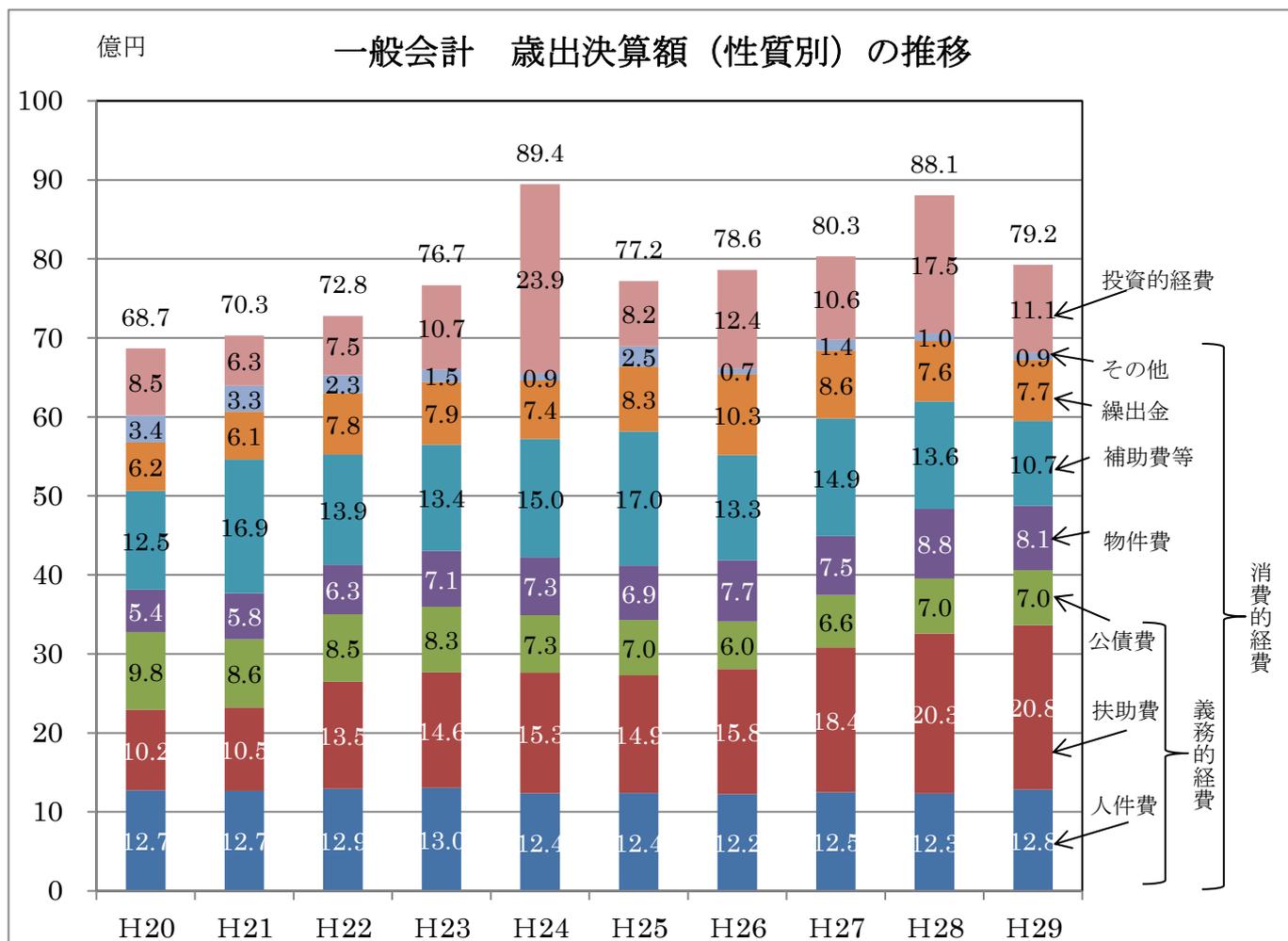
平成 29 年度の農業集落排水事業特別会計の歳入総額は 1 億 613 万 3 千円、歳出総額は 1 億 396 万 1 千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は 217 万 2 千円となりました。前年度と比較しますと歳入は 103 万 3 千円（1.0%）、歳出は 517 万 2 千円（5.2%）とそれぞれ増額となっております。

なお、使用料の収納率は、96.7%でした。

# 過去10年の一般会計決算に関するグラフ

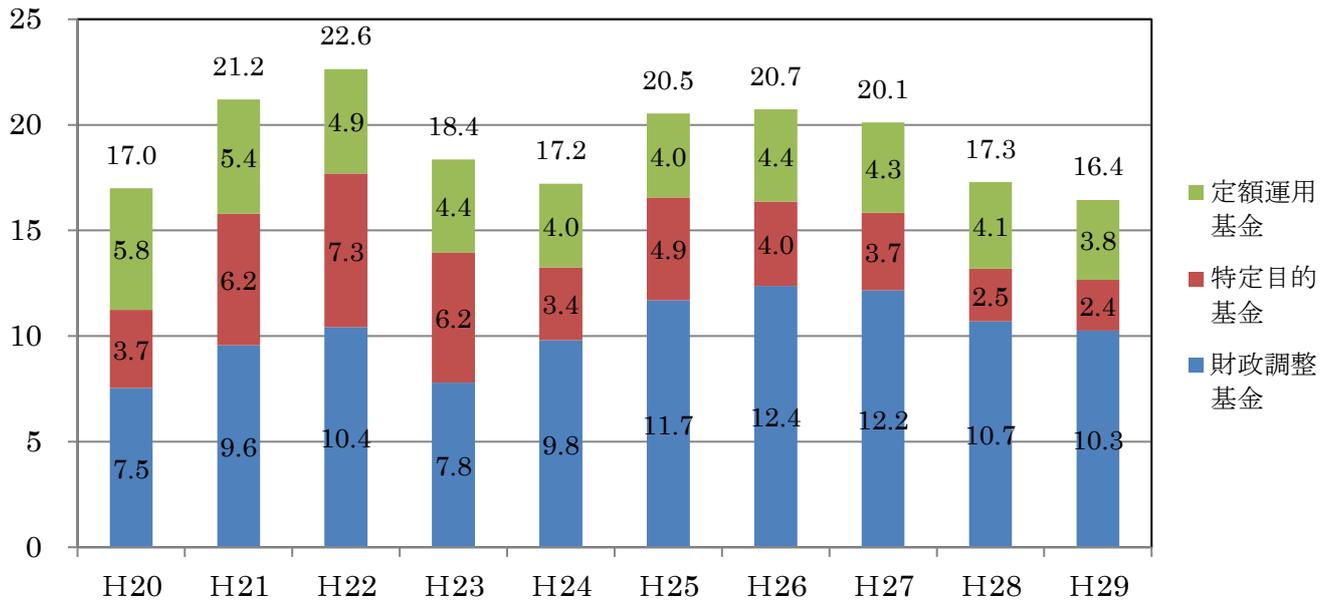
計数については、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは合致しないものがあります。





億円

### 基金残高の推移（一般会計）



定額運用基金・・・定額の資金を運用（歳出・歳入予算とは無関係に基金から直接貸し付け・償還等弾力的に回転運用）するための基金（奨学基金、大塚実基金、土地開発基金、郵便切手類等購買基金）

特定目的基金・・・財産の維持、資金の積立のための基金（減債基金、ふるさとづくり基金、学校整備基金、教育振興基金、地域福祉基金、東日本大震災復興推進基金）

財政調整基金・・・年度間の財源の不均衡を調整するための基金